

たかおか

市議会 だより

No.66 3月定例会号
令和4年(2022年)5月1日発行

3月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	4P
代表質問	5P
一般質問(一括質問・一括答弁)	7P
一般質問(一問一答)	11P
委員会の動き	12P

編集 ■ 広報広聴委員会

発行 ■ 高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

新年度がスタート!!

議会も一丸となって高岡の発展に努めます。



市議会ホームページから過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議の録画映像は YouTube で配信しています。
パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

ホームページは
こちら→



YouTube の
視聴はこちら→



令和4年度予算全会計

総額1345億3672万円を可決

代表・一般質問に19人が登壇

3月定例会は1日に開会し、25日に閉会しました。

市長から令和4年度予算をはじめ50議案が、議員から5議案が提出され、全ての議案を可決・承認・同意しました。また、請願1件を採択しました。

今定例会では、代表質問に2会派、一般質問に17人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・承認・同意した
主な議案等

条例

■消防団員の定員、任命、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員の処遇改善を図り、団員の確保に繋げるため、報酬等を見直すほか、団員の休団に関する規定を設けるもの。

- ・団員 3万6500円
- ・分団長 5万5000円 等
- (2)出勤報酬の見直し
- ・警戒、訓練等について、出勤時間が2時間超の場合に3500円を支給 等
- (3)費用弁償の見直し
- ・災害、警戒及び訓練に従事

した場合に200円を支給した時間、消防活動に従事することができない団員の、休団に関する規定を整備

■国民健康保険税条例の一部改正

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、国民健康保険税のうち、未就学児に係る基礎課税分（医療分）、後期高齢者支援金等分の均等割額について、5割減額するもの。

■高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正

女性が安心して診察を受けられるよう3階東病棟を女性専用病棟としてリニューアル（二部個室化等）することに伴い病床数を変更するほか、診療科の新設及び科名の変更を

行うもの。

(1)一般病床数の変更

(現行) 333床

(改正後) 305床

(2)診療科の新設

・感染症内科

・緩和ケア内科

(3)診療科名の変更

(現行) 神経内科

(改正後) 脳神経内科

■里山交流センター条例の一部改正

浴室を廃止するほか、和室を研修室として利用するため、所要の改正を行うもの。

■自転車等駐車場条例の一部改正

老朽化と近年の利用状況を踏まえ、高岡駅前西自転車駐車場を廃止するもの。

■奨学資金貸与条例の一部改正

次代を担う有為な人材を確保し、定住人口の増加を図るため、たかおか留学奨学資金について、貸与を受けた者のうち、卒業後に本市に居住し就職した者について、返還免除の優遇措置を拡充するもの。

(現行) 最大50%返還免除 (改正後) 最大全額返還免除

■公民館条例の一部改正

老人福祉センターの廃止に伴い、伏木、東部、牧野、西部の各センターを公民館の分館に位置付けるもの。

意見書（要旨）

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣、関係大臣に提出しました。

■観光産業の事業継続に向けた支援を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による観光産業への影響が長期化している。繰り返される緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置により人流は止まり、観光産業はこれまでにならぬ厳しい経営状況に陥っている。観光産業は約900万人の雇用を通じ地域経済を支え、約28兆円とされる市場規模（旅行消費額）により地域の活性化に寄与し、地方創生にも貢献している。また、政府においては、我が国の成長に資する基幹産業の一つとして観光産業を位置付けていることから、観光産業の担い手や地域の方々の生業の確保、経済効果の大きいインバウンドの獲得を図っていく必要がある。よって、国会及び政府におかれては、コロナ禍で大きなダメージを受けた観光の再生への道筋とともに、地域経済をけん引し、成長と分配の好循環を促す新たな観光の確立に向け、GOTOトラベル事業の早期再開など観光需要喚起策の拡大・



観光産業への支援を

強化及び観光関連事業者に対する財政上の支援を早急に講じられるよう要望する。

■シルバー人材センターの安定的な事業運営のために適格請求書等保存方式導入に係る適切な措置を求める意見書

シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された公的団体であり、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献している。令和5年10月から消費税において適格請求書等保存方式が導入予定だが、同制度が導入

されると、センターは仕入税額控除ができなくなり、新たに預かり消費税分を納税する必要が生じる。しかし、公益法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担のための財源確保は困難なため、センターの運営への影響が懸念されている。

よって、国におかれては、センターが引き続き地域における高齢者の生きがいの充実と社会参加を実行する担い手としての役割を果たせるよう、センターの安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じられるよう要望する。

決議（要旨）

ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議

プーチン大統領は自称「ドネツク人民共和国」及び「ルハンスク人民共和国」の独立を一方的に承認する大統領令に署名し、ウクライナへの侵略を開始した。これは力による一方的な現状変更の試みであり、国際秩序の根幹を揺るがす行為として、国際法違反であることは明白である。本市議会は、国際社会の恒久平和を世界に訴えつつ、日本政府が強調した制裁措置に加え、緊急人道支援等の必要な対応を迅速に行う姿勢に強く賛同

するとともに、重ねてロシアに対し、攻撃の即時停止と部隊の撤収を強く求める。

人事

人権擁護委員

越後 靖子氏（新任）
北嶋 秀也氏（再任）
越生 百合子氏（再任）
室谷 公美子氏（新任）

討論要旨（発言順）

―令和4年度予算―

○自由民主党高岡市議会議員会

《賛成》

市長には、スピード感を持って実行力を発揮し、教育環境の整備や公共施設再編、財政見通しについて地域に出向き丁寧の説明し、市民の閉塞感を打破するなどされ、あわせて市民が抱えてきた不満や課題等の民意の把握に努め、前向きで圧倒的な市民目線で市政運営に取り組むよう要望する。

令和4年度予算は、将来を見据えたまちづくりに対応する実証実験的な事業も多く盛り込んだ予算と認識しており、市民生活の利便性向上に向けて実証実験後の本格的な事業化を期待している。

扶助費の増大や公共施設の再編に加え、経済の停滞など

により、厳しい財政運営が今後続くことが予想される。事業・予算の効果や行財政改革の遂行に都度注視する必要があるため、結果報告のみならず、事業の進捗経過の詳細情報を開示するよう求める。

○自由民主党未来創政会

《賛成》

令和4年度予算は、市民が少しでも安心して暮らせる地域づくり・社会づくりに注力したものとなっており、組織編成も未来に希望が持てるものとなっている。本市の最重要課題の一つである財政健全化緊急プログラムについては終結を早めることができ、ポストコロナ時代とその先を見据えた新たな取り組みに挑戦できる状況となった。不妊治療の助成拡充や新生児聴覚検査への助成、保育料・副食費の軽減など、子どもを持ちたいと願う市民や生まれた子どもへの支援を、限りある財源の中で工夫し、助成を拡充したことは、大いに評価されるものであり、力強く今後も押し進めていただきたい。

誰一人取り残さない高岡を目指し、市政を力強く前へ進めていただくよう、強く要望する。

○自民同志会

《賛成》

令和4年度予算は、SDG

s等、「時代の変化に対応した環境づくり」と「未来へ向けた人づくり」を目指すとともに、少子高齢化で人口減少が進行し地域課題が顕在化する中、「安心して暮らせる地域づくり」と「市民サービスの安定した社会づくり」の推進のための「高岡を前へ進める事業」を積極的に盛り込んでいく。中でも、安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実のための、特定不妊治療の助成制度の拡充や、第2子にかかる保育料等の支援の拡充を評価する。また、新たな事業活動の創出のための、事業者支援機能の整備や、市内事業者の多様な事業展開の支援も評価する。

今後も収支均衡した持続可能な財政運営に努め、誰一人取り残さない豊かで暮らしやすいまちを目指しながら、諸課題の解決に向けて着実に取り組むことを要望する。

○立憲民主・社民議員団

《賛成》

財政健全化緊急プログラムを1年前倒しで終了することを大きく評価する。

米価の下落を受け、主食用米生産者への支援の再検討を求めるほか、学校再編については通学区区域の変更も検討課題にすべきと考えるため、地

域の意見を聞く機会を設けるよう求める。歴史・文化資産をまちのにぎわいづくり等に生かした取り組みを期待する。災害に強いまちづくりには積極的に取り組んでいただきたい。本市の発展と持続可能な社会の構築のため、少子高齢化や人口減少への対策の強化や、雇用・所得の安定、子育て支援の充実・拡大を求める。あわせて、コロナ禍で窮地に立たされている事業者等への支援を求める。

緊急度、優先度を勘案して予算の執行に当たり、市民の声に寄り添う市政運営に努めるよう要望する。

○高岡愛

《賛成》

財政健全化緊急プログラムの終了により、当時カットされた補助金が戻ることを期待する声も少なくない。引き続き市民への丁寧な説明が必要である。

新型コロナウイルスの感染拡大により、市民の生活が打撃を受けており、まちなかの賑わいも風前の灯火と化し、飲食店はもちろん、その出入り業者まで広がるダメージは計り知れない。令和4年度予算は「挑戦を生み、挑戦を支える予算」であるが、挑戦するには安定した土台が必要である。市民は不安定な生活の

真つ只中にある。弱い立場の方々に寄り添ってこそその行政運営だと考えるため、引き続き前向きな検討、取り組みを要望する。

会派としても未来に対する責任を持ち、本市の財政運営について緊張感をもって検証していく。

○公明党 《賛成》

令和4年度予算は積極的な内容を盛り込んだ「挑戦型」の予算として編成されており、「人が主役のまちづくり」や「人の力で持続可能で進化し続けるまち」を目指すという思いに大変共感する。生活困窮者等への支援強化や、障がい者への社会参加の促進が期待される農福連携推進事業、DV対策等の男女平等推進の取り組み、交通弱者への対策として期待される市民協働型地域交通システム推進事業などによって、悩み苦しんでいる人たちに少しでも希望を持っていたきたい。また、観光分野においては様々な誘致促進や誘客強化に取り組み、高岡が日本、そして世界に誇れる観光都市となることを期待する。さらに、伝統産業や食文化において「高岡ブランド」の開発とPRをより強化し、あらゆる分野で高岡が魅力あるまちになることを願う。

議 決 結 果 一 覧 表 (令和4年3月定例会)

【議 案】

番号	件 名	結果
第1号	令和4年度一般会計予算 *1 ＜予算の総額＞ 680億9,759万円	可 決
第2号	令和4年度国民健康保険事業会計予算 *1 ＜予算の総額＞ 156億5,155万円	
第3号	令和4年度荻布奨学金事業会計予算 *1 ＜予算の総額＞ 156万円	
第4号	令和4年度駐車場事業会計予算 *1 ＜予算の総額＞ 1億3,146万円	
第5号	令和4年度介護保険事業会計予算 *1 ＜予算の総額＞ 196億3,447万円	
第6号	令和4年度後期高齢者医療事業会計予算 *1 ＜予算の総額＞ 27億1,460万円	
第7号	令和4年度高岡市民病院事業会計予算 *1 ＜予算の総額＞ 106億9,409万円	
第8号	令和4年度水道事業会計予算 *1 ＜予算の総額＞ 56億5,826万円	
第9号	令和4年度工業用水道事業会計予算 *1 ＜予算の総額＞ 4,384万円	
第10号	令和4年度下水道事業会計予算 *1 ＜予算の総額＞ 119億930万円	
第11号	事務分掌条例及び附属機関に関する条例の一部改正	
第12号	個人情報保護条例の一部改正	
第13号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	
第14号	市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	
第15号	市職員の給与に関する条例等の一部改正 「市職員の給与に関する条例の一部改正」 「市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正」 「上下水道事業管理者の給与等に関する条例の一部改正」	
第16号	市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	
第17号	特別会計条例の一部改正	
第18号	丸宮育英基金条例の一部改正 *2	
第19号	ふれあい福祉センター条例の一部改正	
第20号	老人福祉センター条例の廃止	
第21号	国民健康保険税条例の一部改正	
第22号	こども医療費助成条例の一部改正	
第23号	高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正	
第24号	里山交流センター条例の一部改正	
第25号	都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正	
第26号	自転車等駐車場条例の一部改正	
第27号	市道の構造の技術的基準等に関する条例の一部改正	
第28号	市道の移動等円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する条例の一部改正	
第29号	奨学資金貸与条例の一部改正	
第30号	公民館条例の一部改正	
第31号	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	
第32号	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	

【議 案】

番号	件 名	結果
第33号	工事請負契約の締結 (五位中学校区統合小学校校舎新築工事) ＜契約金額＞ 14億2,450万円	可 決
第34号	工事請負契約の締結 (五位中学校区統合小学校校舎新築電気設備工事) ＜契約金額＞ 1億9,690万円	
第35号	工事請負契約の締結 (五位中学校区統合小学校新築機械設備工事) ＜契約金額＞ 3億4,100万円	
第36号	工事請負契約の締結 (五位中学校区統合小学校体育館等新築工事) ＜契約金額＞ 6億6,979万円	
第37号	指定管理者の指定 (ふれあい福祉センター)	
第38号	指定管理者の指定 (木楽館)	
第39号	令和3年度一般会計補正予算 (第12号) ＜補正予算の主な内容＞ ・市立学校感染症対策等支援事業 (小・中・特別支援) 4,450万円 ・公民館等の通信環境整備事業 (公民館管理運営費) 1,246万円 ・地域介護・福祉空間整備等事業費補助金 3,267万円 ・公共施設等整備修繕基金への積立て 5億円 など	
第40号	令和3年度国民健康保険事業会計補正予算 (第1号)	
第41号	令和3年度駐車場事業会計補正予算 (第1号)	
第42号	令和3年度介護保険事業会計補正予算 (第2号)	
第43号	令和3年度後期高齢者医療事業会計補正予算 (第1号)	同 意
第44号	令和3年度高岡市民病院事業会計補正予算 (第3号)	
第45号～48号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件 *3	

【報 告】

番号	件 名	結果
第1号	専決処分の報告について (令和3年度一般会計補正予算 (第10号)) ＜補正予算の内容＞ ・除雪事業費 1億5,000万円	承 認
第2号	専決処分の報告について (令和3年度一般会計補正予算 (第11号)) ＜補正予算の内容＞ ・除雪事業費 2億円	

【議員提出議案】

番号	件 名	結果
第1号	ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議	可 決
第2号	高岡市議会委員会条例の一部改正	
第3号	政務活動費の交付等に関する条例の一部改正	
第4号	観光産業の事業継続に向けた支援を求める意見書	
第5号	シルバー人材センターの安定的な事業運営のために適格請求書等保存方式導入に係る適切な措置を求める意見書	

【請 願】 *4

番号	件 名	結果
第1号	シルバー人材センターの安定的な事業運営のために適格請求書等保存方式導入に係る適切な措置を求める意見書の提出を求める請願	採 択

いずれも全会一致で可決、承認、同意、採択されました。

*1 予算の基本方針は高岡市ホームページで確認できます。(https://www.city.takaoka.toyama.jp/hisho/shise/gaiyo/shicho/hoshin/r4-3.html)

*2 丸宮育英基金は、青少年の健全育成に資するための基金です。

*3 人権擁護委員は、人権相談を受けたり人権の考えを広めたりする活動を行います。

*4 請願とは、国や地方公共団体に要望等を述べることで、議員の紹介が必要です。

代表質問

今定例会では、2会派の代表が市政全般にわた
り質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知ら
せします。



自由民主党
未来創政会
高岡 宏和

高岡議員の
質問の様子はこちら▼



1年前倒しで達成

岡 財政健全化緊急プログラ
ムを1年前倒しで達成した所
感は。

市長 収支均衡した財政構造
の確立を目指し進めてきた財
政健全化緊急プログラムにつ
いては、令和4年度当初予算
編成の中で、事務事業の見直
しや稼ぐ力の推進などによる、
改善目標額の早期達成に向け、
高岡前市長から引き継ぎ、強
い決意をもって取り組んでき
た。その結果、令和4年度当
初予算において、職員給与費
の臨時削減や財政調整基金な
どの基金繰入といった臨時的
な財源対策を行わずに当初予
算を編成することができ、財
政健全化緊急プログラムの目
標が達成されることとなった。

一方で、財政健全化緊急プロ
グラムの目標達成は、ゴール
ではなく、収支均衡した財政
を持続可能なものとしていく
ことが、「持続可能な未来都市
高岡」を実現するために必要
な施策に取り組んでいくうえ
で重要である。新たな視点を
持ちつつ、より健全な財政を
目指し、様々な取り組みを進
めていかなければならないと
考えている。

新設される未来課

岡 未来政策部に新設される
未来課の役割は。

総務部長 未来課には、公共
施設マネジメントをはじめ、
中長期的なビジョンを必要と
する案件や単一の部局では解
決できない関係課職員の連携
による部局横断的な視点が必
要となる案件などの総合調整
機能や特命事項を担うことを
想定している。職員同士が課
題を共有し、互いにアイデア
を出し合うことで、新たな施
策につながるなど、未来課は
新しい組織風土を構築するた
めの先導的な役割を担うもの

と
考えている。

グリーン社会の実現

岡 グリーン社会の実現に不
可欠なカーボンニュートラル
(脱炭素) への取り組みをどの
ように推進していくのか。

市長 カーボンニュートラル
を目指すため、令和3年度、
家庭や事業所など部門別の二
酸化炭素排出の状況や再生可
能エネルギー導入ポテンシャ
ル等のデータを把握し、ロー
ドマップを策定することとし
ている。また、4年度にはロ
ードマップ達成のための実行
計画を策定する。この実行計
画策定にあたり、民間事業者
等や市民の持つ知見やアイデ
ア、手法を取り入れるため、
地域脱炭素の核となる組織を
新たに立ち上げ、官民をあげ
て取り組みたい。

危機管理体制の強化

岡 災害が激甚化、多様化す
る中、防災対策充実のため、
関係機関との連携及び危機管
理体制の強化が必要と考える

が、
見解は。

副市長 本市では、河川改修
や内水対策、土砂災害対策な
どのハード対策に取り組んで
いるほか、ソフト対策として、
災害の発生状況を踏まえた対
応マニュアルの見直しや、地
震・洪水等を想定した防災訓
練などに関係機関と連携して
取り組んでいる。また、関連
部局の連携強化も進めており、
土木維持課が作成していた洪
水ハザードマップと下水道工
務課が作成していた内水ハザ
ードマップを1つに集約し、
指定緊急避難場所や隣接市の
避難場所を明記した水害ハザ
ードマップの作成を行っている。
令和4年度当初、出水期
前の全戸配布を予定している。
また、令和4年度からは、現
在総務課の課内室になつてい
る危機管理室を独立した危機
管理課として設置し、災害対
応や防災業務について、これ
まで以上に迅速かつ適切に対
応できるよう危機管理体制を
強化することとしている。

学校再編に伴う校舎の在り方

岡 学校再編に伴う新校舎建
設の方針と計画は。
教育長 学校の再編統合につ
いては、令和2年2月に策定
した「今後10年を見据えた高



開校式の様子

岡市における小中学校の配置
について」に基づき進めてい
る。五位中学校区については、
統合小学校を新築することと
しており、令和4年度から5
年度にかけて工事を実施し、
令和6年4月に統合小学校を
開校する予定としている。高
陵中学校区については、高陵
中学校の既存校舎の有効活用
を図りながら、小学校として
必要となる校舎を増築し、令
和8年4月開校に向け、小中
一貫校の設計等に取り組んで
いる。高岡西部中学校区につ
いては、令和4年度から5年
度にかけて、旧高岡西高校校
舎の改修・増築工事を行い、
令和6年4月に統合小学校を
開校する予定としている。そ
の後、中学校併設に必要な増
築工事等を実施し、令和9年

4月に小中一貫校として開校する予定としている。今後、伏木中学校区、中田中学校区の再編統合を進めるにあたっては、既存施設を活用しつつ、必要な部分を増改築すること、基本として、学校施設の整備を進めたい。



自由民主党
高岡市議会議員

横田 誠二

横田議員の
質問の様子はこちら



新型コロナウイルス対応

問 ワクチンの3回目接種を早急に進める必要があると考えるが、本市の方針は。

市長 ワクチン接種の前倒しの推進により、本市の主な3回目接種者は64歳以下へと移行している。また、10代から20代の男性には心筋炎等が疑われるケースがごくまれにあり、ワクチンを選択できるよう18歳から29歳までの男性を対象にファイザー社製ワクチンを用いた集団接種を実施する。3月に国からファイザー社製ワクチンの追加配分の案内があり、接種体制の見直しを速やかに進めている。今後

もワクチンに関する適切な情報発信に努めるとともに医師会等と密接に連携を図りながら、交互接種も含め、ワクチン接種を希望する市民が1日も早く接種できる環境整備に努めたい。

健全財政を目指す

問 持続可能な行財政運営について問う。

(1)財政健全化緊急プログラム期間中に廃止・予算削減した事業等に、どのように向き合っているのか、今後の方針は。また、市民への説明はどのように進めるのか、考えは。

(2)財政健全化緊急プログラム終了を踏まえ、持続的に安定した健全な財政運営を継続するための中期財政見通しと、具体的な行動策は。

市長 (1)緊急プログラムの目標達成により、収支均衡した財政が確立されたことはゴールではない。今後は、緊急プログラム期間中に廃止や予算を削減した事業を単にそのままた元に戻すのではなく、施策の効果を検証し、客観的根拠による立案や適正な評価を行い、費用対効果の高い施策への選択と集中、スクラップアンドビルドを基本に、高岡を前へ進めるため未来を感じる

施策を推進していきたい。また、機会を捉えて、市民への情報発信、行政に対するニーズの把握、丁寧な説明と合意形成に努めていく所存であり、総合計画第4次基本計画の説明とあわせ、市民と意見交換する場の設定など検討したい。

(2)本市の財政構造をみると、当面の間、歳出に占める公債費の割合が類似団体に比べて高い状態で推移し、市税の減少や扶助費の増加などが見込まれる。また、学校再編に伴う整備や消防庁舎の更新など大型投資的事業が予定されており、それに伴う資金需要が見込まれている。このため、基金等への積み増しを着実に進め、必要な施策と事業の選択と集中を図りたい。令和4年度中の策定を予定している次期高岡市行財政改革推進方針の中では、新たに中長期的な財政見通しを示すとともに、市債発行規模、市債残高や基金などの数値的な指標を盛り込むことで、今後の持続可能な行財政運営のための指針としていきたい。

令和4年度当初予算案

問 「持続可能な未来都市高岡」の都市イメージは。また、重点施策としてどのように新

年度当初予算を編成したのか。

市長 令和4年度を「持続可能な未来都市高岡」への一歩目となる挑戦の年と位置付け、市民や地域、事業者の挑戦を市が全力で支える新しい時代のパートナーシップを築き、共に未来への扉を開いていきたい。新年度予算は、2つの視点から挑戦を生み、挑戦を支える予算を編成した。1つは「市民全体の挑戦」として、時代の変化を好機と捉えて新たな挑戦を生み出す「環境づくり」と未来の高岡を切り拓いていく「人づくり」。もう1つは「市民生活の安定」として、市民や地域が主体的に取り組む「地域づくり」と挑戦の土台となる安全・安心を支える「社会づくり」を重点施策に位置付けた。

将来を見据えた学校再編

問 あるべき教育の姿について、方針と今後の予定は。

教育長 望ましい学校規模を確保することは、子どもたちが多様な意見に触れ、切磋琢磨し、社会性を身につけるうえで大変重要であり、令和2年2月に「今後10年を見据えた高岡市における小中学校の配置について」を策定したところであり、この方針に基づ



授業の様子

き着実に学校の再編統合を進めたい。あわせて、義務教育学校を含む全ての中学校区において、小中一貫教育を展開することで新しい時代に必要となる能力を培っていきたい。一方で、児童数が増加傾向にある学校では、35人学級の移行に伴い、一部の地域で教室数の不足が見込まれる。この場合には、まずは転用可能な教室等を改修し教室を確保することが基本だが、児童数の推移など地域状況や意見を踏まえ、増築等も含め教育環境を確保していきたい。なお、今回の再編対象となっていない中学校区についても方針決定後、状況の変化に応じて改めて地域の意見を聞くことも大切と考えており、機会を設けることも検討したい。

一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、14人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



梅島 清香
自由民主党
未来創政会

梅島議員の
質問の様子はこちら



妊娠出産・子育て環境充実

産後ケアのサービスの拡充について、見解は。

福祉保健部長 本市では新生児および生後3か月までの子ども

のいる全ての家庭について、保健師等の専門職が訪問し、母子の健康状態や育児方法等の相談に応じている。出産後、育児に不安があり家族等から支援を受けられない方に対しては、助産師による訪問ケアや、病院や助産院でのデイケア、ショートステイといった産後ケア事業を紹介し、心身のケアや育児支援を行っている。また、産後ヘルパー派遣事業では、令和4年度から家事代行サービスの利用期間を出産後2か月から6か月までに延長し里帰り出産や長期入院でも利用しやすくする。

SNSの活用

高岡市からの情報を受け取りやすくするため、ラインのメニューを拡充しては。

市長政策部長 ラインは高齢

者層の利用も多く、メニューの拡充は市民にとって情報取得の利便性が向上するものと考えており、各自自治体の先進事例を参考に効果的に活用できるメニューの検討を進めている。



林 貴文
自由民主党
高岡市議会議員

林議員の
質問の様子はこちら



万葉のふるさとづくり

万葉のふるさとづくりについて問う。

(1)万葉のふるさとづくりにかける思いは。

(2)越中国分寺跡をはじめ越中国府関連のリーフレットの制作にあたり、若者など幅広い世代に発信する工夫をしては。



万葉歴史館に展示されている天部像

市長 (1)令和3年度に地域ブランド開発推進モデル事業に全国で唯一選定されたことを契機に、観光資源としての万葉に更に磨きをかけ、地域の観光振興や本市観光産業の活性化に弾みをつけた。また、万葉集については本市の誇る歴史・文化資産の柱、後世に継承すべき我が国の財産であると認識しており、万葉集やその時代の文化、風土に親しみ、学ぶ機会を市民の皆様提供したい。更には、万葉集を通じた人や都市の交流のほか、芸術・文化の振興につな



田中 勝文
自由民主党
未来創政会

田中議員の
質問の様子はこちら



洪水対象避難場所の不足

洪水対象避難場所が不足しているが、今後の避難場所の在り方について、見解は。

総務部長 浸水想定区域内の避難施設について、安全性を再確認した結果、洪水対象の避難施設の中には、現状より上層階を利用できる施設が14施設あることや、新たに避難場所として利用できる施設が14施設確認でき、浸水想定区域内の人口に対して、避難場所の収容人数を充足できる見通しとなった。なお、収容人数が不足する地域もあることから、隣接市も含め、収容人数に余裕のある地域への早期

がる活動が促進されるよう、今後も幅広く「万葉のふるさと高岡」の魅力を発信したい。
教育長 (2)令和4年度に行うリーフレットの制作では、例えば大学生に加わってもらい、若者など幅広い世代に気軽に手に取ってもらえるようなデザインとなるよう工夫したい。

日本遺産のまち高岡

避難など、避難場所の在り方について周知を図りたい。

閣 「日本遺産のまち高岡」の魅力発信に向けた取り組みは。

市長政策部長 文化創造都市高岡のイメージキャラクター等をフリー素材として公開し、日本遺産のPRに幅広く活用している。令和4年度には、日本遺産ストーリー紹介動画の制作などにも取り組む予定としており、日本遺産ストーリーの周知と、「日本遺産のまち高岡」の魅力発信をさらに推進したい。



山上 尊士
公明党

山上議員の
質問の様子はこちら



コロナ禍での教育

閣 児童生徒が、学級閉鎖等により、授業の遅れや生活リズムの乱れから不登校になることも想定されるが、対応は。

教育長 やむなく学級閉鎖等を行う際は、学習専用端末を活用しオンライン学習を実施しているほか、健康観察等を通じた生活の様子の確認や、

家での過ごし方のアドバイスをしている。悩み等がある子どもには、電話や家庭訪問、面談を行っている。

地域交通システムの今後

問 市民協働型地域交通システムを多くの地域に導入する際の課題と今後の方向性は。

市長政策部長 地域の移動ニーズ等をしっかりと把握した上で交通課題を地域全体の問題として地域の方々が共有することや、交通システムの導入に向けた地域体制の構築、利用者と地域との費用負担のバランスなどが課題である。今後も地域との継続的な意見交換やニーズ調査、実証運行への取り組み等への支援を通じて、地域の実情に応じた手法の検討・プロセスのノウハウを蓄積し、高岡型のコミュニティ交通を定着させたい。



桒田 悦子
立憲民主・
社民議員団

桒田議員の
質問の様子はこちら



介護施設への支援

問 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、介護

事業所の負担の増大は大変大きいと考えるが、これまでの支援策と令和4年度の新たな支援策の内容は。

福祉保健部長 本市では、これまで簡易防護服などの感染症対策衛生用品の備蓄を行い、必要に応じて介護サービス事業所等へ提供してきた。また、特別養護老人ホームなど介護保険施設における感染症対策の合同研修会などを実施している。介護サービス事業所等で、令和4年度から、職員が専門業務に専念できる環境を整備するため、シルバー人材センターと連携し消毒など周辺業務に元気な高齢者を活用することを検討している。

主食用米生産者への支援

問 農家への支援として他市のように主食用米生産者への支援金を設けては。

産業振興部長 本市では、主食用米生産者の経営が将来に渡って維持できるよう、まずは米価の安定対策と農業経営体の収益確保に取り組むことが重要と考えている。今後とも県やJA等の関係機関と連携し各種施策に取り組みたい。



中村 清志
自由民主党
未来創政会

中村議員の
質問の様子はこちら



剪定枝のリサイクル

問 家庭から排出される剪定枝をより簡易にリサイクルする方法を考えては。

市民生活部長 家庭から排出される剪定枝については、高岡広域エコ・クリーンセンターの焼却炉投入口の大きさの制約から設けられた、枝の長さを80センチ、直径を10センチの基準以下とする労力が大変であるとの声があるなど、課題がある。今後、剪定枝や刈草の処分業許可を持つ事業者と協議し、市民がより排出しやすく、リサイクルが推進される具体的な手法等を検討していく。

ウイメンズ病棟の設置

問 高岡市民病院に産科の病棟機能を充実させたウイメンズ病棟を設置することに込めた、本市の思いは。

市民病院事務局長 ウイメンズ病棟の設置は、新しい生命の誕生を控え、未来への希望

と喜びとともに、出産前から育児まで不安を抱える妊産婦の方々に対し、充実した環境と手厚い看護の提供を通じて、しっかりと寄り添いたいとの思いを込めたものである。



山口 泰祐
自由民主党
高岡市議会議員会

山口議員の
質問の様子はこちら



伝統産業の持続的发展

問 小規模企業が多い伝統産業の持続的な発展を図るため、どのように支援してきたのか。

産業振興部長 小規模企業が安定的に経営を継続していくためには、商品開発や分野開拓など新たな挑戦が求められる。本市では、新商品の企画やデザイン開発への取り組みを行っているほか、事業者の意欲的な取り組みに対して、資金面での後押しを行っている。今後も伝統産業が持続可能な産業として発展できる環境づくりに努めたい。

中心市街地の活性化策

問 伝統産業を活かしたイベント開催を御旅屋エリアで増やしては。



クラフト市場街

産業振興部長 伝統産業を活かしたイベントの開催には、ものづくりの文化を次代に繋いでいくことや周辺店舗との相乗効果など、目的や成果を見定めて開催することが肝要である。令和4年度から実施予定の御旅屋アーケードでの定期マーケットでは、高岡のものづくりに由来する食器類の取り扱いや、学び、体験など高岡地域地場産業センターの機能を活かした企画との組み合わせも検討したい。



中川 加津代
自由民主党
高岡市議会議員会

中川議員の
質問の様子はこちら



地域課題に取り組む

問 地域担当職員について問



地域課題を見出す

う。

(1) 地域担当職員モデル制度の具体的な内容や進め方は。

(2) 地域（地域住民）と市役所の未来の関係性をどのように考えているか。

市民生活部長 (1) 地域担当職員は、令和4年度から5年度に平米、川原、木津の3地区に配置する。地域の状況や課題の把握のため、各団体を個別にヒアリングするなど、状況に応じて柔軟に活動したい。また、熱心に地域活動を行っていた方々に加えて、子育て世代や女性などの参画を促し、話し合いで地域課題を見出すとともに、課題達成のための事業を企画したい。

市長 (2) 現在、地域活動の核をなす自治会をはじめとする地域の団体では、担い手不足などから活動の維持が問題と

なっており、団体間の連携強化によって活動を効率化し、地域の力を結集して地域課題に取り組み「多機能地域自治」の体制づくりを進めている。地域が主体となつて考えた地域課題の解決の取り組みに対し市が支援する新しい関係を築きたい。



酒井 善広
自由民主党
未来創政会

酒井議員の
質問の様子はこちら



子ども・子育て施策

問 本市の子ども・子育て支援策を将来にわたって安定的に進めていくには、高岡独自の「子ども基本条例」の制定が必要と考えるが、見解は。

市長 本市において、条例は制定されていないものの、これから進める子ども・子育て支援施策の方向性や目標を示すものとして、第2期高岡市子ども・子育て支援事業計画を策定している。まずは条例制定した先行自治体の取り組みや成果、課題を調べたい。

新たな公共交通体系構築

問 高齢化が進む中、自宅・

目的地から最寄りの駅・バス停までの移動が困難である、いわゆるラストワンマイル問題の解消が重要と考えるが、見解は。

市長政策部長 持続可能な地域交通体系の構築は将来に向けた重要な視点である。ラストワンマイル問題については、共助による高岡型コミュニティ交通の定着に向けた現在の取り組みをしっかりと進め、一定の成果を得た段階で、AIによる自動運転やMaaSの活用とともに検討していくべきテーマと考えている。



新開 広恵
公明党

新開議員の
質問の様子はこちら



子育て支援の連携

問 子育てに悩む女性に対応するために、子育て世代包括支援センターを拠点として、関係機関と連携することが重要であると考えますが、見解は。

福祉保健部長 子育て中の方が孤立することなく気軽に相談でき、必要とする情報や支援が受けられるよう、子育て世代包括支援センターの存在

および役割を広く周知するとともに、地域で母子保健や子育て支援に携わっている各関係機関が互いの支援内容を認識しあい、より円滑な連携が図られるよう努める。

農福連携の推進について

問 障がい者の能力と農作業に必要な能力とのミスマッチが考えられるが、対応は。

産業振興部長 令和4年度に、農業者や福祉事業者が作業現場を見学する機会を設けることとしており、実際に現場を見ることで、作業イメージを掴んでいたのではないかと考える。さらに、県の事業を活用し、作業委託のお試し体験を行い、事前に課題の解消に取り組むなどにより、ミスマッチを防ぐことができると考えている。



石須 大雄
立憲民主
社民議員団

石須議員の
質問の様子はこちら



令和4年度予算への想い

問 「挑戦を生み、挑戦を支える予算」で市民に期待することとは。

市長 令和4年度の予算案で示した施策、事業を最大限に活用し、市民がそれぞれの活動や実践の場、あるいは活躍できる場面で、一人ひとりが個性や能力に応じて何事にも積極的に挑戦していただくことを期待している。

万葉歌碑の魅力発信

問 万葉歌碑魅力発信プロジェクトとは、どのような事業なのか。

市長政策部長 万葉歌碑魅力発信プロジェクトは、令和への改元を機に国内外から関心を集めた万葉集を、観光資源として活用し、地域振興と観光促進につなげることを目的とした事業である。プロジェクトでは、市内に多く設置されている万葉歌碑の解説文や英語での翻訳コンテンツを作成し、歌碑の案内サイトやリーフレットを作成することとしており、市内万葉歌碑巡りや万葉ゆかりの地への周遊促進を図るとともに、アフターコロナの観光需要を見据え、インバウンドに向けた万葉集の魅力発信に取り組んでいく。





嶋川 武秀
高岡 愛

嶋川議員の
質問の様子はこちら



* BCPの策定

問 市内企業や本市に進出を検討される企業に、BCP策定の啓発・促進支援をしては。
産業振興部長 令和3年度は、高岡商工会議所及び高岡市商工会において、事業継続力の強化に関するセミナー等により、市内事業者への支援を行った。また、県外事業者に対してはBCPの観点から本市が本社機能等の分散化に有利な環境であることをPRして

いる。今後も国や県、産業支援機関等と連携し、事業継続力の強化に取り組む事業者を支援したい。

浸水被害に備える

問 浸水被害が甚大と予想される地区に河川状況確認用カメラを設置し、市HP等で確認できる対策を講じては。
都市創造部長 浸水被害を最小限にするため、いち早く避難情報を入力することに加え、付近の河川水位など身の回りの変化を把握し避難することが重要と考えている。現在、国や県が管理する主要な河川では水位計やカメラが設置されており、国土交通省HP等で公表されている。これらの情報を市HPで分かりやすく確認できるように対応したい。



熊木 義城
高岡 愛

熊木議員の
質問の様子はこちら



赤レンガ建物利活用

問 赤レンガ建物利活用事業について問う。
(1)令和4年度に実施されるサウンディング調査の目的、期

間企業からのヒアリングや

議会日誌

12月定例会後～3月定例会前

12月23日	広報広聴委員会
1月6日	広報広聴委員会
27日	代表者会議
2月3日	民生病院常任委員会
7日	総務文教常任委員会
9日	代表者会議
10日	産業建設常任委員会
15日	議会説明会
21日	議会運営委員会
22日	広報広聴委員会
24日	正副常任委員長会議

3月定例会

3月1日	議員協議会 本会議(提案理由説明) 議案説明会
2日	議案説明会 本会議(追加提案理由説明) 議案説明会
3日	代表者会議
4日	議会運営委員会 議員協議会 本会議(代表質問)
9日	本会議(一般質問(一括)) 代表者会議
10日	本会議(一般質問(一括))
11日	議会運営委員会
16日	本会議(一般質問(一問一答))
18日	民生病院常任委員会
22日	代表者会議 産業建設常任委員会
23日	議会運営委員会 総務文教常任委員会
25日	代表者会議 委員長会議 議会運営委員会 議員協議会 本会議(議案など議決)

待される効果は。

(2)赤レンガ建物の利活用の方針は。

市長政策部長 (1)赤レンガ建物の改修や維持管理コストの軽減を図ることは重要である。調査では、整備や運営への民間企業の参入可能性を含め、参入意欲を高める事業スキームや、実現可能性の高い建物用途、またその機能の在り方について整理したい。

市長 (2)赤レンガ建物の利活用に当たっては、その文化財的価値を損ねず、民間活力を最大限活用することを基本とし、多くの人が集い、交流を生む建物となるよう、幅広く利活用の用途・機能を検討していく。令和3年度中には、民間企業からのヒアリングや

有識者からの意見聴取を踏まえた保存活用計画をとりまとめ、4年度の本格調査の実施につなげたい。また、地元住民や関係団体など幅広く意見を伺い、市民から愛され、利用される施設となるよう方針を定めた。



出町 譲
高岡 愛

出町議員の
質問の様子はこちら



学校の再編統合について

問 今後も学校の再編統合が相次ぐが、空き校舎に関する基本指針の策定について、検

討状況は。
教育長 空き校舎に関する方針については、市全体としてのまちづくりの視点も必要となることから、全庁的な協議を重ねるとともに、地元の意向を丁寧にお聞きしながら検討したい。

税収見通しの考え方

問 税収見通しは、高岡市総合計画における人口予測に基づいているのか。

総務部長 市の人口が税収に直接影響する個人市民税については、総合計画における人口推計に基づき、また算定時の推移や税制改正による影響も踏まえて算定している。高岡市総合計画第4次基本計画

の人口推計においては、本市の生産年齢人口が令和2年から7年にかけて、4.3%減、1年あたり約0.9%減としていることを踏まえ、令和4年

度から8年度の個人市民税の見込みについては、納税義務者数が年0.9%ずつ減少するものとして算定している。

一般質問（一問一答）

今定例会では、3人が市政全般にわたり一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



福井 直樹
自由民主党
高岡市議会議員会

福井議員の
質問の様子はこちら



御旅屋セリオの活性化

問 御旅屋セリオに人を呼び込む核となる施設を誘致するなど、充足に向けた意気込みは。

市長 令和4年度、まちなかスタートアップ支援事業を通じて、御旅屋セリオを含む中心市街地での起業・創業を強力に推し進めるとともに、定期マーケットの開催や空き店舗調査、開業支援などの事業を

組み合わせることで、御旅屋周辺エリアの期待値を高め、起業しやすい、起業したくなる環境づくりに努める。意欲ある市民の皆様の新たな挑戦によって、人や賑わいと呼び込み、活性化を図りたい。

市職員の意識改革

問 「市民に役立つ所」を目指して進める職員の意識改革は、どの程度進んでいるのか。

市長 まず、挨拶をすることをもっと、会議や朝の庁内放送で、職員に挨拶の重要性を呼びかけてきた。令和4年度は、接遇研修の強化はもちろんのこと、職員と直接向き合う研修を行うなど、今まで以上に職員との意識共有に努め、市民の方々から信頼さ



笹井 哲治
自由民主党
未来創政会

笹井議員の
質問の様子はこちら



おとぎの森公園

問 バラに親しめる公園としておとぎの森公園をブランドイングしては。

市長 おとぎの森公園は、バラに親しめる公園として高く評価いただいている。これまでもバラの魅力を県内外に広



おとぎの森公園のバラ

れ、市民のためになる政策を企画、実行できる市役所、「市民に役立つ所」を目指したい。

く発信しているが、令和4年春のバラの見頃から、インスタグラムによる発信も開始する。令和4年度は、当公園の魅力向上計画を策定することから、市民や民間からの提案を積極的に反映し、バラを楽しむる公園としてブランドイングの強化にも努めたい。

古城公園内の動物園

問 動物園の今後について考えは。

都市創造部長 動物園は、施設の老朽化が進んでおり、公共施設再編計画では移転又は廃止の方向性が示されている。一方で、長年にわたり、幅広い世代の市民に愛されるところにも、子どもたちが命の大切さを学び、楽しむことができ、貴重な施設でもある。このため、動物園の今後の運営方針等を含め、その在り方を早期に検討したい。



上田 武
立憲民主・
社民議員団

上田議員の
質問の様子はこちら



児童のワクチン接種

問 5歳から11歳へのワクチン

ン接種について問う。
(1) 重篤な副反応者に対する医療体制や補償は。

(2) 保護者から不安の声があるが、子どもへのワクチン接種について、本市としてどのように考えているのか。

福祉保健部長 (1) 体に異常が生じた場合、ワクチンを接種した医療機関やかかりつけ医を受診するよう案内している。受診医療機関においてさらに専門的な対応が必要であると判断した場合は、富山大学附属病院の小児科を紹介することとなっており、円滑な医療体制が確保されている。ワクチン接種による健康被害が認められた場合は、医療費や障害年金の給付等を受けることができ、健康増進課で申請受け付けを行っている。

市長 (2) 本市としては、ワクチン接種による発症や重症化の予防の効果と副反応のリスクなど、接種を検討する際に必要な情報を丁寧にしっかりと伝えたい。接種される方や保護者の方には、ワクチンへの正しい理解を深めていただき、ワクチン接種に対する適切な判断をお願いしたい。

委員会の動き

常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑と当局からの答弁は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

問 「バンクシーって誰?展」は、本市が単独で開催するのか。また、事業収益は見込んであるのか。

答 本市、高岡市美術館及びKNBによる実行委員会形式で運営する予定である。バンクシーの額装作品の展示と、ストリート作品に焦点を当てた街並みの再現展示の2つの要素で構成する。チケット販売収入や物販売上げ収入を事



「バンクシーって誰?展」が開催予定

○民生病院常任委員会

問 子育て世帯への臨時特別給付金給付事務費が減額となっている要因は。

答 国が本市の人口、世帯数に基づき算定した給付金額と実際の給付金額に差が生じたことから、減額補正するもの。

○産業建設常任委員会

問 県との受水協定が改定されると聞いているが本市の受水費の負担額はどうか。

答 本市、氷見市、射水市、小矢部市の4市及び供給側の県企業局とで定期的に受水費の引き下げを協議してきた。今般、県との協定が概ねまとまり、本市の受水費は、令和4年度で約2200万円の減少が見込まれることとなった。

用語解説コーナー

BCP

※10ページ掲載

自然災害等の緊急事態の発生時、企業が損害を最小限に抑えつつ、事業の継続や早期復旧を可能とするため、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段等を取り決めておく計画。

6月定例会の予定

6月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、5月30日(月)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

7日(火)	10時	議員協議会
	13時	本会議 (提案理由説明)
13日(月)	9時	議会運営委員会
	10時	本会議 (一般質問(一括))
14日(火)	10時	本会議 (一般質問(一括))
15日(水)	10時	本会議 (一般質問(一括)予備日)
16日(木)	9時	代表者会議
	10時	民生病院常任委員会
	13時	産業建設常任委員会
17日(金)	9時	議会運営委員会
	10時	総務文教常任委員会
21日(火)	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議 (議案など議決)

詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

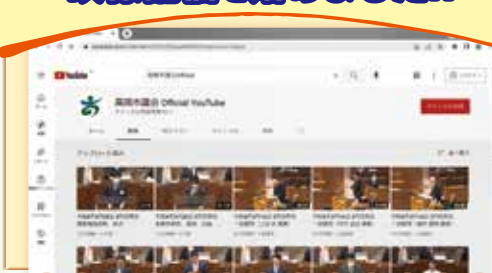
本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

なお、新型コロナウイルス感染予防のため、傍聴される際は、マスクの着用をお願いいたします。

12月定例会以降の傍聴者数

	本会議	委員会
令和4年 1月	—	—
2月	—	2人
3月	111人	4人

YouTubeでの映像配信を始めました!!



本会議の録画映像について、YouTubeでの配信を始めました。表紙のQRコードから映像の一覧を確認できます。また、5~11ページの各議員の顔写真横のQRコードからは、各議員の質問の様子を確認できます。ぜひご覧ください。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、ロシアのウクライナ侵略により世界情勢も大変緊迫した状況の中で迎えた、令和4年度予算を決める大切な3月議会。財政健全化緊急プログラムが1年前倒しで終了となる中で、令和4年度予算に関して各議員から非常に活発な議論がなされました。

一方で、子どもたちは2年以上の長きに渡り、新型コロナウイルスの影響で不自由な学校生活を強いられてきましたが、この春、晴れて卒業を迎えられた卒業生は、凛々しくたくましく、その姿に大変感動致しました。

この春、新たな道へ進まれた皆様に、ふるさと高岡への誇りと将来への希望を持っていただけるように。そして、いち早く世界に平和が訪れ、市民の皆様が笑顔で安心して暮らせるように。皆様に寄り添い、高岡を前へ進めるために、議会の歩みを重ねてまいります。
(山上 記)

★編集委員

◎篠井 ○山口

山上、梅島、出町、埜田
中村、林、藪中、水口

(◎委員長 ○副委員長)